



令和7年2月3日

金明小学校だより

加賀市立
金明小学校



なわとび シン・NAWATOBI体験



1月24日に、世界選手権団体銅メダル、そして「シルク・ドゥ・ソレイユ」で活躍した田口先生をお招きして、なわとびの授業をしました。今まで、なわとびは回数を跳ぶ、技ができるようになることを考えて取り組んでいましたが、それだけではない「NAWATOBI」の魅力を教えてもらいました。歩いているだけなのに、なわを跳んでいる！なわが体に巻き付き、次にほどけて、生き物のように動いている！速く回る、遅く回る、先生の4重跳びを見せてもらって、金明っ子はびっくり！すごい！楽しむことやかっこよく見せる技などを、たくさん学びました。



なわとびは跳ぶだけではなく、なわとびを動かして表現することができます。そしてなわの止め方も教えてもらい、かっこいいきめ技も知りました。低学年は、なわとびじゃんけんで盛り上がりました。

*田口先生は、シルク・ドゥ・ソレイユの「キダム」で唯一の日本人として13年間出演し続け、終了（2016年2月）までに42カ国（217都市）で約4,000回の公演を行ってきた方です。



1月31日 なわとび大会



学年ごとの技や跳ぶ時間が設定されている「なわとび大会」。始まる前から「がんばるぞ」という声や「今からなわとび大会だ」という緊張感もありました。児童は今まで練習したきたことを信じて、自己の目標に向かって頑張りました。友達のなわとびの回数を数えたり、声援したりと、互いに支え合い、応援し合いながら、温かい雰囲気の大会でした。



最後に「頑張った人？」と聞くと全員が手をあげました。自己の目標を達成できた児童も、達成できなった児童もいましたが、「来年も頑張る」「中学校ではなわとび大会がないだろうから、家で頑張ってみる」「みんなに応援されて頑張った」「持久とびはいつも最後までできなかったけど、今日は3分間できました」「来年は目標を達成する」など、前向きで、自分の成長を感じている振り返りでした。

金明っ子はよく頑張ります。本当に素敵です。



6年生と一緒に
うれしい1年生



2年生と5年生、
互いの頑張りをたたえて、
ハイタッチ